

管理者様・児童発達支援管理責任者様

令和6年度 子ども・子育て支援等推進調査研究事業
障害児支援における支援の質の向上に関するアンケート調査

ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在弊社では、こども家庭庁の国庫補助事業である令和6年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業として「障害児支援における支援の質の向上に関する調査研究」を実施しております。

本調査研究は、これまでに実施されてきた調査分析結果を踏まえ、障害児支援における各事業所における人材育成の方法や研修状況、研修内容、キャリアアップの仕組み等の観点から障害児支援における支援の質の向上に関する取り組みの実態を把握し、段階的な研修体系の構築等、人材の確保・育成とその評価の在り方を検討するための基礎情報を取りまとめることを目的としております。その一環として、障害児支援に関わる事業所に対して、人材育成研修に関するアンケート調査を実施いたします。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、アンケートへのご回答をお願い申し上げます。

なお、回答いただきました内容は、回答者を特定できないよう統計的な処理をしたうえで、集計分析を行います。また、本調査研究以外での使用もございません。

御多用中のところ誠に恐れ入りますが、本調査研究へのご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

【調査対象となる事業】 児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援、保育所等訪問支援
福祉型障害児入所施設、医療型障害児入所施設

【ご回答期限】 令和7年2月14日（金）

【ご回答方法】 別紙をご覧ください

【アンケートの内容・記入に関するお問い合わせ】

事務局 株式会社野村総合研究所 アンケート事務局

E-mail : shogaiji-ikusei-inquiries@nri.co.jp

【ご回答方法】

- 以下の Web フォームから回答をお願いいたします。

https://questant.jp/q/shogaiji_ikusei_r6



【ご回答上の留意点】

- 本調査は、貴事業所の管理者様または児童発達支援管理責任者様にご回答をお願いいたします。回答は、貴事業所内についてお考えください。
- 想定回答時間は約 20 分です。なお、回答途中での一時保存はできません。以下に調査項目一覧を掲載しておりますので、回答前にご準備いただいてもかまいません。
- 回答後の修正はできません。修正したい場合は、改めてご回答をお願いいたします。（古い回答は事務局にて削除いたします。）
- 1事業所あたり、回答は1回をお願いいたします（事業所番号単位で1つの事業所としてお考えください）。なお、同じ施設・事業所番号で重複回答があった場合には、新しいものを優先いたします。
- 本調査は、2025（令和7）年2月14日（金）までにご回答をお願いいたします。

12. 医療的ケア児の受入れ状況をお答えください。

※現在該当する児と契約しているものをすべてお答えください。

- (1) 人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置、高頻度胸壁振動装置を含む）の管理
- (2) 気管切開の管理
- (3) 鼻咽頭エアウェイの管理
- (4) 酸素療法
- (5) 吸引（口鼻腔・気管内吸引）
- (6) ネブライザーの管理
- (7) 経管栄養
- (8) 中心静脈カテーテルの管理（中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬など）
- (9) 皮下注射
- (10) 血糖測定（持続血糖測定器による血糖測定を含む）
- (11) 継続的な透析（血液透析、腹膜透析を含む）
- (12) 導尿
- (13) 排便管理
- (14) 痙攣時の座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置
- (15) その他（ ）
- (16) 医療的ケア児はいない

13. 利用児の有無にかかわらず、貴事業所において可能な医療行為をお答えください。

- (1) 人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置、高頻度胸壁振動装置を含む）の管理
- (2) 気管切開の管理
- (3) 鼻咽頭エアウェイの管理
- (4) 酸素療法
- (5) 吸引（口鼻腔・気管内吸引）
- (6) ネブライザーの管理
- (7) 経管栄養
- (8) 中心静脈カテーテルの管理（中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬など）
- (9) 皮下注射
- (10) 血糖測定（持続血糖測定器による血糖測定を含む）
- (11) 継続的な透析（血液透析、腹膜透析を含む）
- (12) 導尿
- (13) 排便管理
- (14) 痙攣時の座薬挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置
- (15) その他（ ）
- (16) 対応できる医療的ケアはない

14. 貴事業所における職員について、常勤/非常勤及び職種別に該当するものにチェックをつけ、職員数をご記入ください。(実人数でお答えください)

※非常勤職員がない場合は、「1.保育士」にチェックをつけて、人数を「0」人と入力してください。

- (1) 保育士 ①常勤 / ②非常勤
- (2) 児童指導員（機能訓練担当や看護師含まず） ①常勤 / ②非常勤
- (3) 理学療法士 ①常勤 / ②非常勤
- (4) 作業療法士 ①常勤 / ②非常勤
- (5) 言語聴覚士 ①常勤 / ②非常勤
- (6) 管理栄養士・栄養士 ①常勤 / ②非常勤
- (7) 心理担当職員 ①常勤 / ②非常勤
- (8) 看護職 ①常勤 / ②非常勤
- (9) 社会福祉士 ①常勤 / ②非常勤
- (10) その他支援員（上記資格を有していない者） ①常勤 / ②非常勤

以下の設問では、自施設以外で実施されている研修の受講状況について、職員のレベルごとにお伺いします。職員のレベル定義は以下の表をご参照ください。

(この後、職員のレベル毎に問う設問は、すべてこの定義に基づきます。)

#	職員レベル	定義
1	初任者	障害児支援に従事した段階
2	一般職員	従事してから3年目程度までが目安
3	リーダー職・管理職	事業所において中心的役割を担う職員
4	スーパーバイザー	地域の事業所等に助言・指導ができる職員

15. 貴事業所の職員について、経験年数や担っている役割に応じた職員レベル（初任者、一般職員、リーダー職・管理職、スーパーバイザー）毎に下記人数をご記入ください。（実人数でご記入ください）

- ① 在籍職員数
- ② (①のうち)自施設外の外部研修の受講経験者数
- ③ (②のうち)児童発達支援センター等の地域の中核機能が実施している研修の受講経験者数

※職員レベル別に、該当するものにチェックをつけてから、人数をご記入ください。

※受講経験者数は、直近1年間の実人数でお答えください。

※②・③で、すべての職員レベルで受講経験者が一人もいない場合は、「初任者」にチェックをつけて0人と記入してください。

以下の設問では、障害児支援における支援の質の向上を図るための研修の成果確認方法について、職員のレベルごとにご意見をお伺いします。

16. 初任者、一般職員、リーダー職・管理職、スーパーバイザーの職員レベルごとに、事業所内での研修受講後の成果確認（理解度の確認等）方法として、効果的であると思うものをお選びください。

※事業所内で研修を実施していない場合は「その他」を選択し、その旨をご記入ください。

- (1) 研修終了時のテストの実施
- (2) 研修修了後一定期間後のテスト
- (3) 研修レポートの提出
- (4) 事業所内での上長との面談
- (5) 一定期間後の振り返り研修
- (6) わからない（現在該当者がいない等）
- (7) その他（ ）
- (8) 成果確認は必要ない

17. 初任者、一般職員、リーダー職・管理職、スーパーバイザーの職員レベルごとに、外部研修受講後の成果確認（理解度の確認等）方法として、効果的であると思うものをお選びください。

※外部研修を受講していない場合は「その他」を選択し、その旨をご記入ください。

- (1) 研修終了時のテストの実施
- (2) 研修修了後一定期間後のテスト
- (3) 研修レポートの提出
- (4) 事業所内での上長との面談
- (5) 一定期間後の振り返り研修
- (6) わからない（現在該当者がいない等）
- (7) その他（ ）
- (8) 成果確認は必要ない

以下の設問では、障害児支援における支援の質の向上を図るための研修成果を業務に落とし込み定着させるための取組について、職員のレベルごとにお伺いします。

18. **事業所内での研修**で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることを、初任者、一般職員、リーダー職・管理職、スーパーバイザーの職員レベルごとにお選びください。

- (1) 上長との面談
- (2) メンター等による個別フォロー
- (3) フォローアップ研修
- (4) OJT
- (5) その他
- (6) 取り組んでいることはない

(Q19～Q22 は、Q18 で「その他」を選んだ場合のみ回答)

19. **事業所内の「初任者」**研修で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることとして、「その他」をお選びになりましたが、その具体的な内容を教えてください。

()

20. **事業所内の「一般職員」**研修で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることとして、「その他」をお選びになりましたが、その具体的な内容を教えてください。

()

21. **事業所内の「リーダー職・管理職」**研修で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることとして、「その他」をお選びになりましたが、その具体的な内容を教えてください。

()

22. **事業所内の「スーパーバイザー」**研修で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることとして、「その他」をお選びになりましたが、その具体的な内容を教えてください。

()

23. **外部研修**で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることを、初任者、一般職員、リーダー職・管理職、スーパーバイザーの職員レベルごとにお選びください。

- (1) 上長との面談
- (2) メンター等による個別フォロー
- (3) フォローアップ研修
- (4) OJT
- (5) その他
- (6) 取り組んでいることはない

(Q24～Q27 は、Q23 で「その他」を選んだ場合のみ回答)

24. **外部の「初任者」**研修で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることとして、「その他」をお選びになりましたが、その具体的な内容を教えてください。

()

25. 外部の「一般職員」研修で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることとして、「その他」をお選びになりましたが、その具体的な内容を教えてください。

()

26. 外部の「リーダー職・管理職」研修で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることとして、「その他」をお選びになりましたが、その具体的な内容を教えてください。

()

27. 外部の「スーパーバイザー」研修で学んだことについて、業務に落とし込み定着させるために取り組んでいることとして、「その他」をお選びになりましたが、その具体的な内容を教えてください。

()

以下の設問では、障害児支援における支援の質の向上を図るための研修の一コマ当たりの時間について、ご意見をお伺いします。

28. 貴事業所が研修に当てられる時間を踏まえ、初任者、一般職員、リーダー職・管理職、スーパーバイザーの職員レベルごとに、研修一コマ当たりの望ましい時間を一つずつお選びください。

- (1) 15分未満
- (2) 15分以上 30分未満
- (3) 30分以上 45分未満
- (4) 45分以上 60分未満
- (5) 60分以上 90分未満
- (6) 90分以上 120分未満
- (7) 120分以上

29. 貴事業所が研修に当てられる時間を踏まえ、研修実施方法ごと（①集合型座学 / ②グループワーク / ③事例検討 / ④動画配信・e-learning ツールの視聴）に、研修一コマ当たりの望ましい時間を一つずつお選びください。

- (1) 15分未満
- (2) 15分以上 30分未満
- (3) 30分以上 45分未満
- (4) 45分以上 60分未満
- (5) 60分以上 90分未満
- (6) 90分以上 120分未満
- (7) 120分以上

以下の設問では、児童発達支援センターなどの中核機能による研修の受講状況についてお伺いします。

30. 地域や圏域の児童発達支援センター等では、他の事業所の職員が参加できる研修を実施しているかどうか教えてください。(自施設が実施するものを除く)

- (1) 実施している
- (2) 実施していない
- (3) わからない

(Q31～Q35は、Q30で地域や圏域の児童発達支援センター等では、他の事業所の職員が参加できる研修を「実施していない」と回答した場合のみ回答)

31. 地域や圏域の児童発達支援センター等では、他の事業所の職員が参加できる研修を「実施していない」と回答されましたが、もし実施された場合は、職員を参加させますか？初任者、一般職員、リーダー職・管理職、スーパーバイザーの職員レベルごとに教えてください。

- (1) 参加させる
- (2) 参加させない
- (3) わからない

(Q32～Q35は、Q31で「参加させる」を選んだ場合のみ回答)

32. 地域や圏域の児童発達支援センター等で、他の事業所の職員が参加できる研修を実施された場合、「初任者」を「参加させる」と回答されましたが、どのようなテーマであれば職員を参加させるか教えてください。
()

33. 地域や圏域の児童発達支援センター等で、他の事業所の職員が参加できる研修を実施された場合、「一般職員」を「参加させる」と回答されましたが、どのようなテーマであれば職員を参加させるか教えてください。
()

34. 地域や圏域の児童発達支援センター等で、他の事業所の職員が参加できる研修を実施された場合、「リーダー職・管理職」を「参加させる」と回答されましたが、どのようなテーマであれば職員を参加させるか教えてください。
()

35. 地域や圏域の児童発達支援センター等で、他の事業所の職員が参加できる研修を実施された場合、「スーパーバイザー」を「参加させる」と回答されましたが、どのようなテーマであれば職員を参加させるか教えてください。
()

(Q36 は、Q30 で地域や圏域の児童発達支援センター等では、他の事業所の職員が参加できる研修を「実施している」と回答した場合のみ回答)

36. 児童発達支援センター等の中核機能による研修（自施設が実施するものを除く）を職員に受講させているかどうかを、初任者、一般職員、リーダー職・管理職、スーパーバイザーのレベルごとに教えてください。

- (1) 受講させている
- (2) 受講させていない

(Q37～Q116 は、Q36 で児童発達支援センター等の中核機能による研修を職員に「受講させている」と回答した場合のみ回答)

37. 「初任者」に対して児童発達支援センター等の中核機能による研修を受講させているとのことですが、受講させた研修内容および事業所等の名称を記載ください。

※研修内容は1つずつ記載ください。最大5つまで回答できます。ここでは1つめについてお伺いします。

※研修内容が5つ以上ある場合は、直近に実施したものから5つまで記載ください。

「初任者」に対する研修内容 ()

受講させた授業所などの名称 ()

38. Q37 で回答した研修について、研修を受講させた理由をお選びください。

- (1) 研修テーマが初任者に適当と思われる研修内容であったため
- (2) 事業所内の研修では実施することが難しい研修内容が受講できるため
- (3) 地域の中核機能を担う施設との連携を強化するため (または日常的に連携をしているため)
- (4) 地域の事業所等との交流機会を増やすため
- (5) 自治体からの指示
- (6) その他 ()

39. Q37 で回答した研修について、研修実施方法をお選びください。

- (1) 対面での集合型座学
- (2) オンラインでの集合型座学
- (3) 対面でのグループワーク
- (4) オンラインでのグループワーク
- (5) 対面での事例検討
- (6) オンラインでの事例検討
- (7) 動画配信・e-learning ツールの視聴
- (8) その他 ()

40. Q37 で回答した研修について、その効果をお選びください。

- (1) 非常に効果があった
- (2) ある程度効果があった
- (3) あまり効果がなかった
- (4) 全く効果がなかった
- (5) わからない

Q41～Q56 は、Q37～Q40 と同じ内容を「初任者」に対して児童発達支援センター等の中核機能による研修を受講させた内容5つまでくり返し。

- ・「初任者」に対する研修2つめ：Q41～Q44
- ・「初任者」に対する研修3つめ：Q45～Q48
- ・「初任者」に対する研修4つめ：Q49～Q52
- ・「初任者」に対する研修5つめ：Q53～Q56

77. 「リーダー職・管理職」に対して児童発達支援センター等の中核機能による研修を受講させているとのことですが、受講させた研修内容および事業所等の名称を記載ください。

※研修内容は1つずつ記載ください。最大5つまで回答できます。ここでは1つめについてお伺いします。

※研修内容が5つ以上ある場合は、直近に実施したものから5つまで記載ください。

「リーダー職・管理職」に対する研修内容（ ）

受講させた授業所などの名称（ ）

78. Q77 で回答した研修について、研修を受講させた理由をお選びください。

- (1) 研修テーマがリーダー職・管理職に適切と思われる研修内容であったため
- (2) 事業所内の研修では実施することが難しい研修内容が受講できるため
- (3) 地域の中核機能を担う施設との連携を強化するため（または日常的に連携をしているため）
- (4) 地域の事業所等との交流機会を増やすため
- (5) 自治体からの指示
- (6) その他（ ）

79. Q77 で回答した研修について、研修実施方法をお選びください。

- (1) 対面での集合型座学
- (2) オンラインでの集合型座学
- (3) 対面でのグループワーク
- (4) オンラインでのグループワーク
- (5) 対面での事例検討
- (6) オンラインでの事例検討
- (7) 動画配信・e-learning ツールの視聴
- (8) その他（ ）

80. Q77 で回答した研修について、その効果をお選びください。

- (1) 非常に効果があった
- (2) ある程度効果があった
- (3) あまり効果がなかった
- (4) 全く効果がなかった
- (5) わからない

Q81～Q96 は、Q77～Q80 と同じ内容を「リーダー職・管理職」に対して児童発達支援センター等の中核機能による研修を受講させた内容5つまでくり返し。

- ・「リーダー職・管理職」に対する研修2つめ：Q81～Q84
- ・「リーダー職・管理職」に対する研修3つめ：Q85～Q88
- ・「リーダー職・管理職」に対する研修4つめ：Q89～Q92
- ・「リーダー職・管理職」に対する研修5つめ：Q93～Q96

97. 「スーパーバイザー」職員に対して児童発達支援センター等の中核機能による研修を受講させているとのことですが、受講させた研修内容および事業所等の名称を記載ください。

※研修内容は1つずつ記載ください。最大5つまで回答できます。ここでは1つめについてお伺いします。

※研修内容が5つ以上ある場合は、直近に実施したものから5つまで記載ください。

「スーパーバイザー」職員に対する研修内容（ ）

受講させた授業所などの名称（ ）

98. Q97 で回答した研修について、研修を受講させた理由をお選びください。

- (1) 研修テーマがスーパーバイザーに適切と思われる研修内容であったため
- (2) 事業所内の研修では実施することが難しい研修内容が受講できるため
- (3) 地域の中核機能を担う施設との連携を強化するため（または日常的に連携をしているため）
- (4) 地域の事業所等との交流機会を増やすため
- (5) 自治体からの指示
- (6) その他（ ）

99. Q97 で回答した研修について、研修実施方法をお選びください。

- (1) 対面での集合型座学
- (2) オンラインでの集合型座学
- (3) 対面でのグループワーク
- (4) オンラインでのグループワーク
- (5) 対面での事例検討
- (6) オンラインでの事例検討
- (7) 動画配信・e-learning ツールの視聴
- (8) その他（ ）

100. Q97 で回答した研修について、その効果をお選びください。

- (1) 非常に効果があった
- (2) ある程度効果があった
- (3) あまり効果がなかった
- (4) 全く効果がなかった
- (5) わからない

Q101～Q116 は、Q97～Q100 と同じ内容を「スーパーバイザー」職員に対して児童発達支援センター等の中核機能による研修を受講させた内容5つまでくり返し。

- ・「スーパーバイザー」職員に対する研修2つめ：Q101～Q104
- ・「スーパーバイザー」職員に対する研修3つめ：Q105～Q108
- ・「スーパーバイザー」職員に対する研修4つめ：Q109～Q112
- ・「スーパーバイザー」職員に対する研修5つめ：Q113～Q116

(以降は、Q2で「児童発達支援センター」と回答した場合のみ回答。それ以外はここでアンケート終了)

以下の設問は、児童発達支援センターの地域に向けた研修についてお伺いします。

117. 自事業所にとどまらず、地域の他の事業所や専門職を対象とした研修を実施していますか。

- (1) 実施している
- (2) 実施していない

(Q118～120は、Q117で地域の他の事業所や専門職を対象とした研修を「実施していない」を選択した場合のみ回答)

118. 自事業所にとどまらず、地域の他の事業所や専門職を対象とした研修を今後実施する予定はありますか。

- (1) 実施する予定がある
- (2) 実施する予定はない

119. 自事業所にとどまらず、地域の他の事業所や専門職を対象とした研修を実施するにあたっては、どのような課題がありますか。

- (1) 研修テーマの設定が難しい
- (2) 自事業所に講師を担える人材が不足している
- (3) 外部講師の確保が難しい
- (4) 研修を実施する時間(準備を含め)を確保することが難しい
- (5) 研修を実施するための費用の確保が難しい
- (6) 研修を実施するための場所の確保が難しい
- (7) 研修開催等についての広報が難しい
- (8) 自治体や他事業所との連携が難しい
- (9) その他()
- (10) 特に課題はない

120. 自事業所にとどまらず、地域の他の事業所や専門職を対象とした研修を実施するにあたっては、どのようなサポート等があるとよいでしょうか。

- (1) 研修開催に当たり活用可能な事業の周知
- (2) 他の児童発達支援センター等で行われている研修等の事例紹介(好事例の周知)
- (3) 障害児支援における標準的なカリキュラム
- (4) 研修等で活用可能な教材(テキスト等)
- (5) 自治体との連携(自治体と協働で実施するための協議の場等)
- (6) その他()
- (7) 特に必要なサポートはない

(Q121 以降は、Q117 で地域の他の事業所や専門職を対象とした研修を「実施している」を選択した場合のみ回答)

121. 自事業所にとどまらず、地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修の内容を記載ください。

※研修内容は1つずつ記載ください。最大10個まで回答できます。ここでは1つめについてお伺いします。

※研修内容が10個以上ある場合は、直近に実施したものから10個まで記載ください。

研修内容 ()

122. Q121 で回答した研修について、講師の職種をお選びください。

- (1) 施設内の管理者
- (2) 施設内の児童発達支援管理責任者
- (3) 施設内の中核機能強化担当職員
- (4) 上記以外の施設内職員
- (5) 外部講師
- (6) その他 ()

(Q123 は、Q122 で「外部講師」を選んだ場合のみ回答)

123. Q121 で回答した研修について、講師は外部講師とのことですが、どのような人や機関に講師を依頼しているかをお選びください。

- (1) 学識経験者
- (2) 行政職員
- (3) 他の児童発達支援センターの職員
- (4) 他の事業所の職員
- (5) 障害児支援事業者団体
- (6) 発達障害者支援センター
- (7) 医療的ケア児支援センター
- (8) 障害当事者団体
- (9) 親の会団体
- (10) 保育所等、他の子ども・子育て支援の職員
- (11) 学校関係者
- (12) その他 ()

124. Q121 で回答した研修について、講師の障害児支援における経験年数をお選びください。

※講師が複数人いる場合は、メインの講師を一人想定して回答してください。

- (1) 1年未満
- (2) 1年以上3年未満
- (3) 3年以上5年未満
- (4) 5年以上10年未満
- (5) 10年以上20年未満
- (6) 20年以上
- (7) わからない

125.Q121 で回答した研修について、研修の受講対象者をお選びください。

- (1) 障害児通所支援事業所
- (2) 障害児入所施設
- (3) 相談支援事業所（基幹相談支援センター含む）
- (4) 保育所、認定こども園、幼稚園等
- (5) 小学校、中学校
- (6) 高校
- (7) 特別支援学校
- (8) 他の子育て支援事業（放課後児童クラブ等）
- (9) 自治体職員
- (10) 障害のあるこどもの保護者・家族
- (11) 地域住民
- (12) その他（ ）

Q126～Q170 は、Q121～Q125 と同じ内容を 10 個までくり返し。

- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 2 つめ：Q126～Q130
- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 3 つめ：Q131～Q135
- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 4 つめ：Q136～Q140
- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 5 つめ：Q141～Q145
- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 6 つめ：Q146～Q150
- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 7 つめ：Q151～Q155
- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 8 つめ：Q156～Q160
- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 9 つめ：Q161～Q165
- ・地域の他の事業所や専門職を対象として実施している研修 10 個め：Q166～Q170

171.地域に向けた研修を実施している児童発達支援センターを対象としたヒアリングを実施する予定です。ご協力いただける場合は、事業所名・担当者名・メールアドレス・電話番号をご記入ください。

- 事業所名（ ）
担当者名（ ）
メールアドレス（ ）
電話番号（ ）

以上